

海津市コミュニティバス利用状況

I 利用者数とその特性

1. 総利用者数の推移

本市では、平成27年10月の再編（8系統の定時定路線➡定時定路線+デマンド交通）後において利用者数が減少し、今後も人口減による減少が見込まれることから「海津市地域公共交通網形成計画」の数値目標を見直すことにしました。平成28年度（H28.4～H29.3）の110,051人を基準に、観光利用促進などにより平成31年度には3%増の113,000人を目標としました。

平成29年度（H29.4～H30.3）の総利用者数は101,933人であり、基準年である平成28年度の0.93倍となっており、減少傾向になっています。

表 年間の総利用者数の比較

	① H28 年度 (基準年) H28.4～H29.3	H29 年度 H29.4～H30.3	目標 (H31 年度)
総利用者数	110,051 人	101,933 人	113,000 人
指数 (対①)	1.00	0.93	1.03

券種別にみると、現金の利用者数は1,774人、5%増加しており、観光客の利用増等による効果として評価できます。

ただし、通学定期は9,223人、26%の減少であり、通学定期の減少が総利用者数の減少に影響しています。

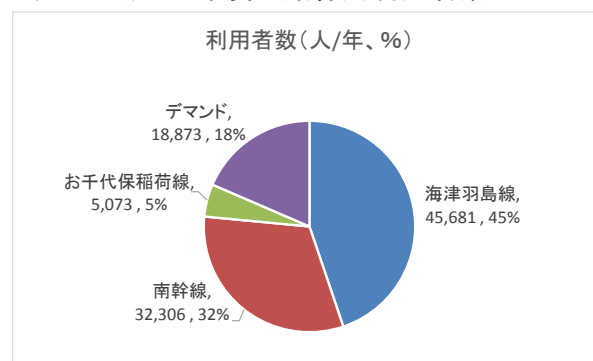
表 年間の券種別利用者数の比較

	券種別	H28年度 H28.4～H29.3		H29年度 H29.4～H30.3		変化	
		総利用者数	券種別 割合	総利用者数	券種別 割合	増加数 H29-H28	増減率 H29/H28
定時定路線	現金	34,792	38.2%	36,566	44.0%	1,774	1.05
	回数券	20,836	22.9%	20,097	24.2%	△ 739	0.96
	通勤定期	313	0.3%	563	0.7%	250	1.80
	通学定期	34,858	38.3%	25,635	30.9%	△ 9,223	0.74
	乗継券	56	0.1%	41	0.0%	△ 15	0.73
	無料	222	0.2%	158	0.2%	△ 64	0.71
	①合計	91,077	100.0%	83,060	100.0%	△ 8,017	0.91
デマンド交通	②デマンド交通	18,974		18,873		△ 101	0.99
合計	①+②総合計	110,051		101,933		△ 8,118	0.93

2. 路線別の利用状況

平成29年度の路線別利用者数は、定時定路線の海津羽島線が45,681人（45%）、南幹線が32,306人（32%）、お千代保稲荷線が5,073人（5%）、デマンド交通が18,873人（18%）であり、海津羽島線が半数近くを占めています。

図 平成 29 年度 路線別利用者数



3. 定時定路線の券種別利用者数

海津羽島線は、現金の利用者が 17%増えていますが、通学定期が 33%減少し、合計では 5%減少しています。観光利用の増加、高校生の通学利用の減少と想定されます。

南幹線は、現金、通学定期ともに 15%程度減少しており、通院・温泉利用、高校生の通学利用の減少と想定されます。

お千代保稲荷線は、回数券が 18%減少、通学定期が 31%減少しており、通学利用の減少と想定されます。

表 平成 29 年度 路線別券種別の利用者数

海津羽島線

	券種別	H28年度 H28.4～H29.3		H29年度 H29.4～H30.3		変化	
		総利用者数	券種別 割合	総利用者数	券種別 割合	増加数 H29-H28	増減率 H29/H28
定時定路線	現金	22,441	24.6%	26,233	31.6%	3,792	1.17
	回数券	6,691	7.3%	6,376	7.7%	△ 315	0.95
	通勤定期	301	0.3%	405	0.5%	104	1.35
	通学定期	18,686	20.5%	12,551	15.1%	△ 6,135	0.67
	乗継券	30	0.0%	23	0.0%	△ 7	0.77
	無料	89	0.1%	93	0.1%	4	1.04
	合計	48,238	53.0%	45,681	55.0%	△ 2,557	0.95

南幹線

	券種別	H28年度 H28.4～H29.3		H29年度 H29.4～H30.3		変化	
		総利用者数	券種別 割合	総利用者数	券種別 割合	増加数 H29-H28	増減率 H29/H28
定時定路線	現金	11,455	12.6%	9,464	11.4%	△ 1,991	0.83
	回数券	12,800	14.1%	12,618	15.2%	△ 182	0.99
	通勤定期	12	0.0%	57	0.1%	45	4.75
	通学定期	11,861	13.0%	10,092	12.2%	△ 1,769	0.85
	乗継券	20	0.0%	14	0.0%	△ 6	0.70
	無料	125	0.1%	61	0.1%	△ 64	0.49
	合計	36,273	39.8%	32,306	38.9%	△ 3,967	0.89

お千代保稲荷線

	券種別	H28年度 H28.4～H29.3		H29年度 H29.4～H30.3		変化	
		総利用者数	券種別 割合	総利用者数	券種別 割合	増加数 H29-H28	増減率 H29/H28
定時定路線	現金	896	1.0%	869	1.0%	△ 27	0.97
	回数券	1,345	1.5%	1,103	1.3%	△ 242	0.82
	通勤定期	0	0.0%	101	0.1%	101	-
	通学定期	4,311	4.7%	2,992	3.6%	△ 1,319	0.69
	乗継券	6	0.0%	4	0.0%	△ 2	0.67
	無料	8	0.0%	4	0.0%	△ 4	0.50
	合計	6,566	7.2%	5,073	6.1%	△ 1,493	0.77

4. 通学定期利用者数の減少についての考察

通学定期利用者数の減少の考察として平成 28 年度の高校 3 年生の定期購入者と平成 29 年度の高校 1 年生の定期購入者を比較すると、市内の通学定期購入者は 6 人減、市内から市外に通う通学定期購入者は 3 人減、市外から市内に通う通学定期購入者は 5 人減の計 14 人減となっており、高校の授業日数を 200 日と仮定すると、9,223 人のうち 5,600 人程度（14 人×200 日×2 往復＝5,600 人）は高校生の減少が影響したと想定されます。

また、大学、短期大学及び専門学校等の定期購入者は平成 28 年度が 16 人、うち年間を通して定期を購入した学生は 7 人、残りの 9 人は年度途中で定期の購入がなくなり、平成 29 年度の定期購入者は 8 人、うち年間を通して定期を購入した学生は 2 人、残りの 6 人は年度途中で定期の購入がなくなりました。定期購入者の減少要因としては、平成 28 年度の定期を利用していた学生の卒業（年齢から推測）、年度途中の減少要因は、夏以降に定期の購入がないことから、自動車運転免許取得による通学方法の変化等が考えられます。年間を通しての利用者は 5 人減、年度途中までの利用者は 3 人減で大学等の授業日数を 150 日、夏休みまでの授業日数を 60 日と仮定すると、1,860 人程度（5 人×150 日×2 往復＋3 人×60 日×2 往復＝1,860 人）は大学生等の減少が影響したと想定されます。

表 高校生の通学定期購入者数

	平成 28 年度 高校 3 年生	平成 29 年度 高校 1 年生	差
市内（※）	16 人	10 人	△6 人
市内（※） → 市外	6 人	3 人	△3 人
市外 → 市内	25 人	20 人	△5 人

※羽島市の西小藪の通学定期購入者は市内に含める

表 大学、短期大学及び専門学校等の学生の通学定期購入者数

	平成 28 年度	平成 29 年度	差
年度当初定期購入者	16 人	8 人	△8 人
年間を通しての購入者	7 人	2 人	△5 人
年度途中までの購入者	9 人	6 人	△3 人

<参考> 表 海津明誠高校の生徒数

	平成 28 年度	平成 29 年度	差
生徒数	563 人	550 人	△13 人

（出典：岐阜県教育委員会資料）

<参考> 表 海津市内の高校生及び大学生相当人口

	平成 28 年度	平成 29 年度	差
15～17 歳（高校生相当）	1,042 人	1,004 人	△38 人
18～21 歳（大学生相当）	1,453 人	1,442 人	△11 人

（各年度 4 月 1 日現在）

5. 鉄道駅バス停の乗降者数

バスと鉄道との乗り継ぎの状況を把握するため、鉄道駅バス停の乗降者数を整理すると下表のようになります。平成29年度（H29.4～H30.3）は平成28年度よりも減少しています。駅別には、岐阜羽島駅（新羽島駅）は学生の通学定期利用者の変化により減少していると考えられ、石津駅は海津羽島線の延伸の効果により乗降者数が増えています。

表 駅バス停の乗降者数

単位：人/年				
	駒野駅	石津駅	岐阜羽島駅	3駅合計
H29年度	10,038	7,308	30,529	47,875
H28年度	10,255	6,003	34,440	50,698
H29/H28	0.98	1.22	0.89	0.94

Ⅱ デマンド交通の利用特性

運行開始（平成 27 年 10 月 1 日）以降、平成 30 年 5 月 7 日までの利用実態を整理・分析しました。これまでに報告してきた特性と同様の結果になっています。

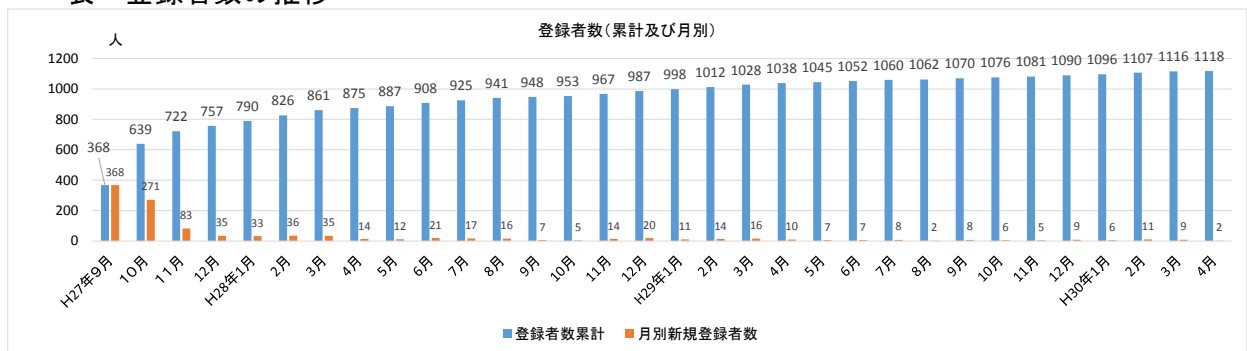
なお、予約システムによる予約状況データをもとに整理・分析したもので、実乗車人員とは異なります。

1. 利用者登録状況

（1）登録者数の推移

運行開始（10 月 1 日）前の 9 月に 368 人の登録があり、その後の登録者数は減少傾向ですが、最近では月に 10 人前後の登録があり、平成 30 年 4 月までに累計で 1,118 人が登録されています。なお、登録しなくても利用できるため、利用者の数とは一致しません。

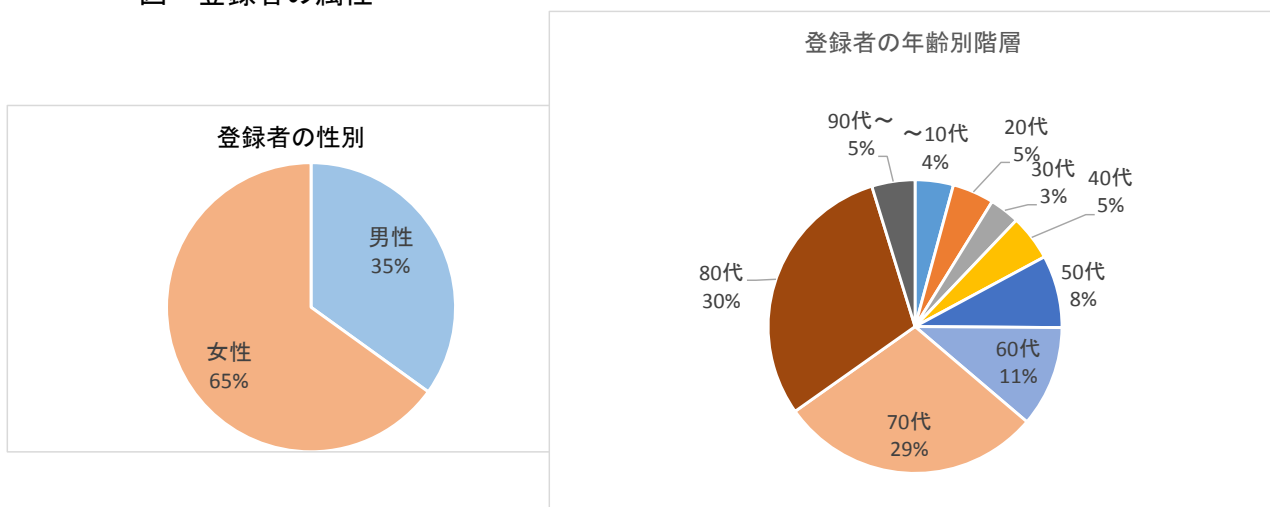
表 登録者数の推移



（2）登録者の属性

登録者の約 65%は女性であり、年齢別にみると 60 歳以上の高齢者が約 75%を占めています。（平成 30 年 5 月 7 日までの累計）

図 登録者の属性

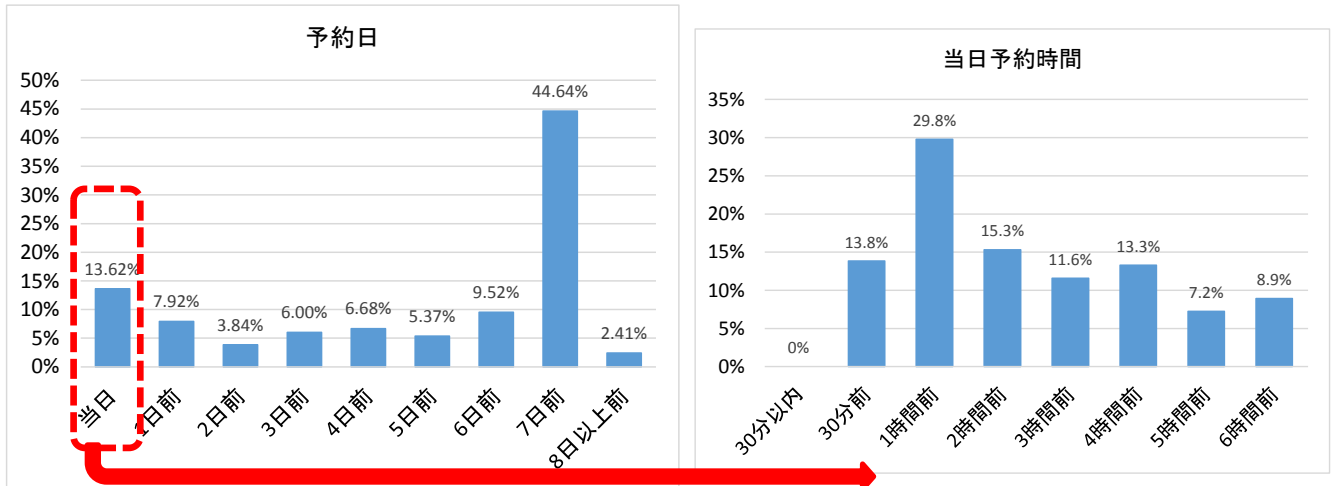


2. 予約状況

(1) 予約時期

予約日は、運行7日前が最も多く、通院予約や定期的な利用が多いものと思われます。次いで多いのは、当日になっており、当日の中では1時間前が最も多く、利用時刻がほぼ決まってから予約される方が多いものと思われます。(平成30年5月7日までの累計)

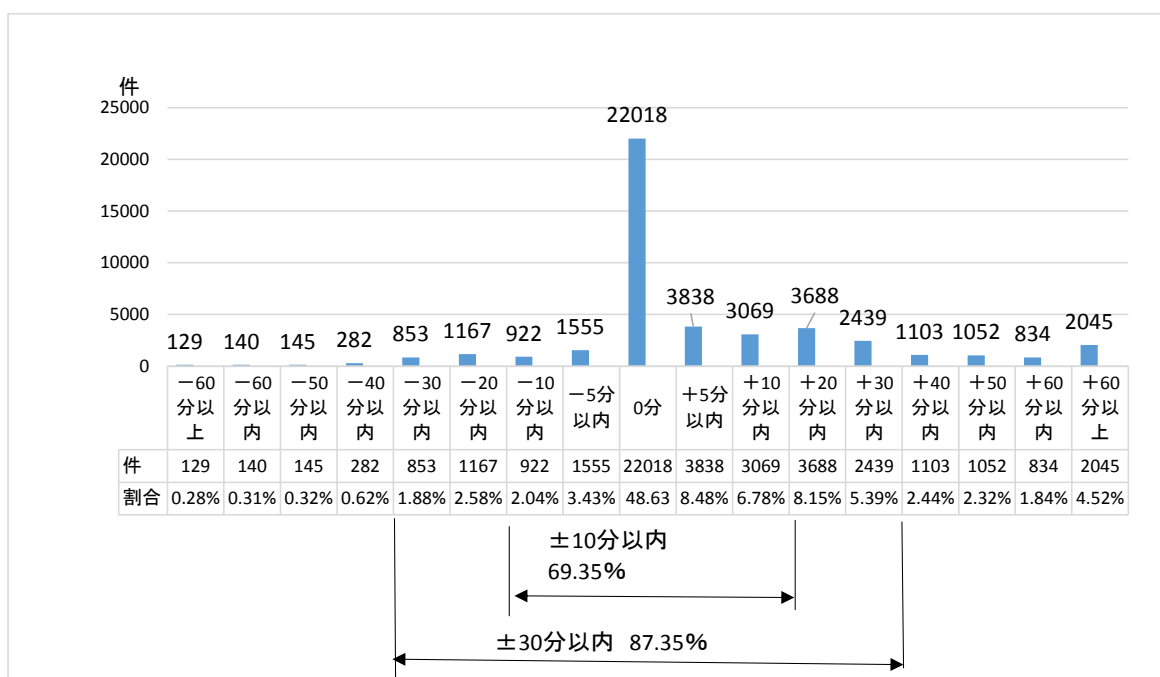
図 予約時期



(2) 乗車時刻と希望時刻との差

希望の時刻通りに予約が成立した割合は48.6%、希望時刻の±10分以内で予約が成立したのは69.3%、±30分以内では87.3%に達しており、概ね希望時刻通りに予約できているといえます。(平成30年5月7日までの累計)

図 予約確定乗車時刻と希望時刻の差



(3) 予約のお断り状況

予約をお断りした理由について、平成27年10月以降の半年間ごとの推移をみると、大半は「客の都合」です。平成27年10月～平成28年3月には「希望する時間に車両が空いていなかったため」とする理由が165件・31.5%でしたが、その後徐々に減少し、平成29年10月～平成30年3月では9件・1.3%であり、効率的な車両運用が行われてきていると考えられます。

図 予約のお断り件数とその理由

	予約お断り 件数	お断りの理由(件数)			
		希望する時間 に車両が 空いてい なかったため	すぐに来て ほしいと希 望されたが 対応できな かったため	希望時間が 運行時間外 の為	客の都合他
H27年10月	15	15	0	0	0
11月	70	27	1	1	41
12月	69	26	1	1	41
H28年1月	109	35	0	0	74
2月	115	30	1	0	84
3月	145	32	0	1	112
H28年度上期小計	523	165	3	3	352
理由の割合	100.0%	31.5%	0.6%	0.6%	67.3%
4月	151	15	0	0	136
5月	103	4	0	1	98
6月	114	8	0	0	106
7月	117	16	0	0	101
8月	112	4	0	0	108
9月	129	2	0	0	127
H28年度下期小計	726	49	0	1	676
理由の割合	100.0%	6.7%	0.0%	0.1%	93.1%
10月	116	5	0	0	111
11月	103	5	0	0	98
12月	105	7	0	0	98
H29年1月	104	4	0	0	100
2月	124	3	0	0	121
3月	151	3	0	0	148
H29年度上期小計	703	27	0	0	676
理由の割合	100.0%	3.8%	0.0%	0.0%	96.2%
4月	167	0	0	0	167
5月	85	2	0	0	83
6月	114	4	0	0	110
7月	83	2	0	0	81
8月	129	4	0	0	125
9月	117	1	0	0	116
H29年度下期小計	695	13	0	0	682
理由の割合	100.0%	1.9%	0.0%	0.0%	98.1%
10月	160	6	0	0	154
11月	93	2	0	0	91
12月	156	1	0	2	153
H30年1月	91	0	0	0	91
2月	92	0	0	0	92
3月	105	0	0	0	105
H30年度上期小計	697	9	0	2	686
理由の割合	100.0%	1.3%	0.0%	0.3%	98.4%

3. 利用状況

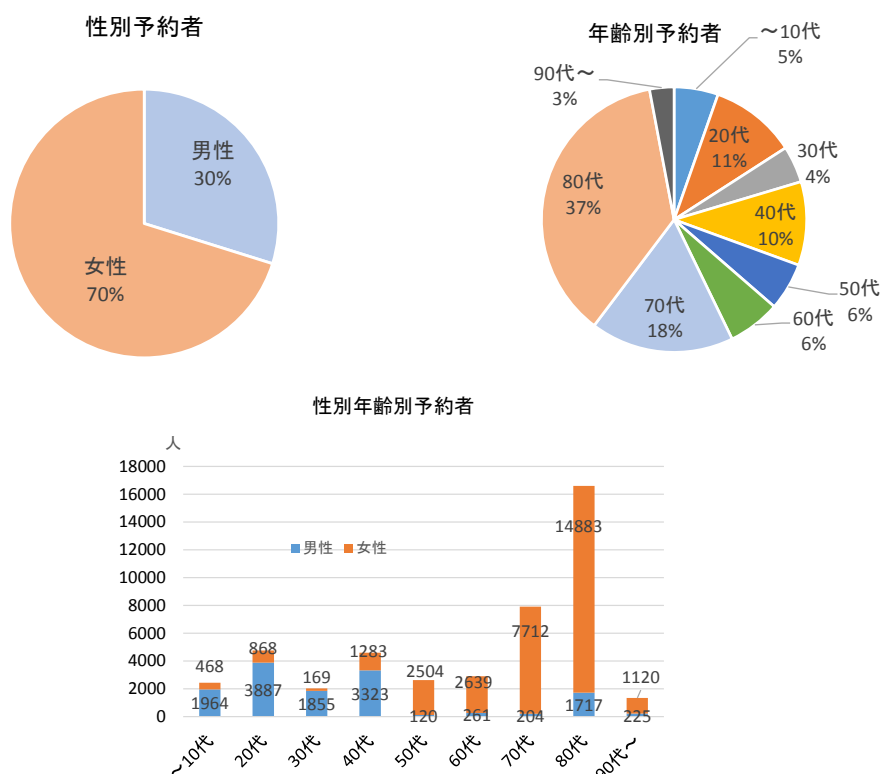
(1) 利用者の属性

乗車予約をされている方は、登録者と同様に、女性が約70%となっています。

年齢別には、登録者と同様に60歳以上の高齢者が約64%を占めていますが、なかでも80代の方の利用が多くなっています。

また、性別年齢別にみると、高齢者は女性、40代までは男性の予約が多いことがわかります。（平成30年5月7日までの累計）

図 予約者の属性

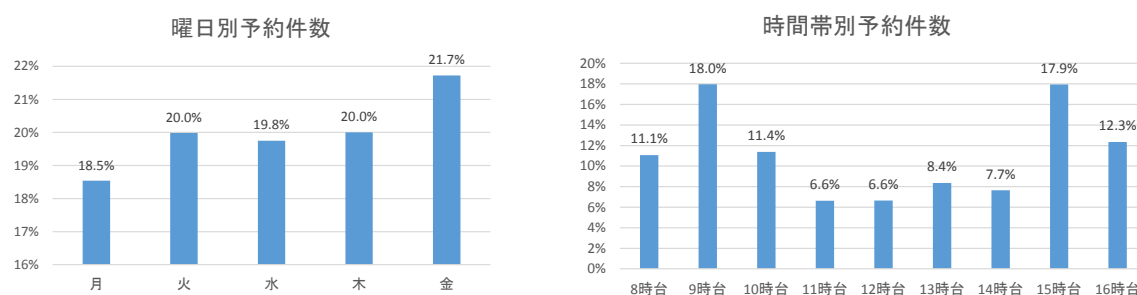


(2) 曜日別・時間帯別予約状況

予約された曜日は金曜日が最も多く、月曜日がやや少ない傾向があります。

予約されている時間は、午前中は9時台、午後は15時台が多くなっています。

図 曜日別・時間帯別予約状況



(3) 乗り合わせ状況

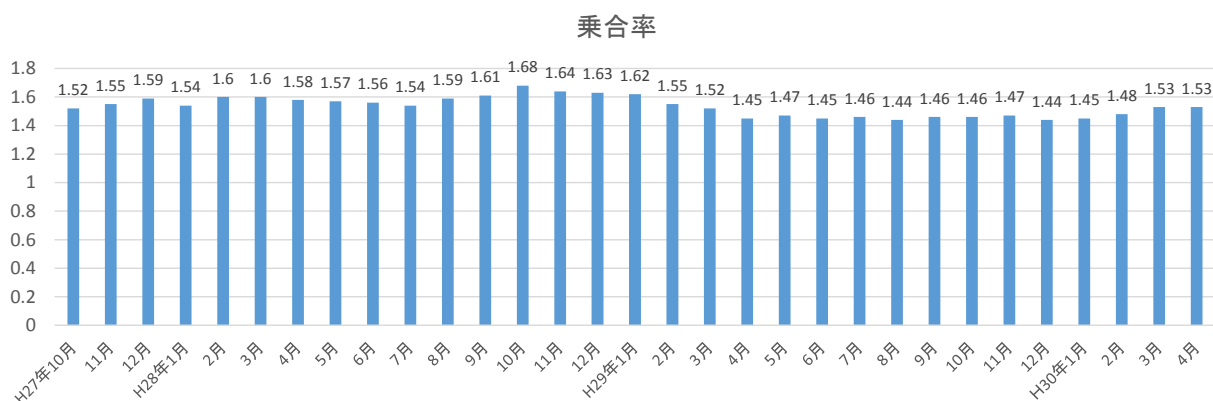
1回の運行（「1運行」※と定義します。）で複数の予約に対応すれば、乗合区間が発生します。（ここでは、1つの予約に2人以上が同時に乗車する場合は除きます）

この乗合区間の比率（ここでは、「乗合率」※と定義します。）は、平成30年4月に1.53であり、1運行の中の約53%程度の区間は2つ目の予約に対応している状況になっており、かなり乗合されていることがわかります。

※1 運行：空車のバスに乗客が乗車してから最後の乗客が降車するまでの運行を1運行と定義します。

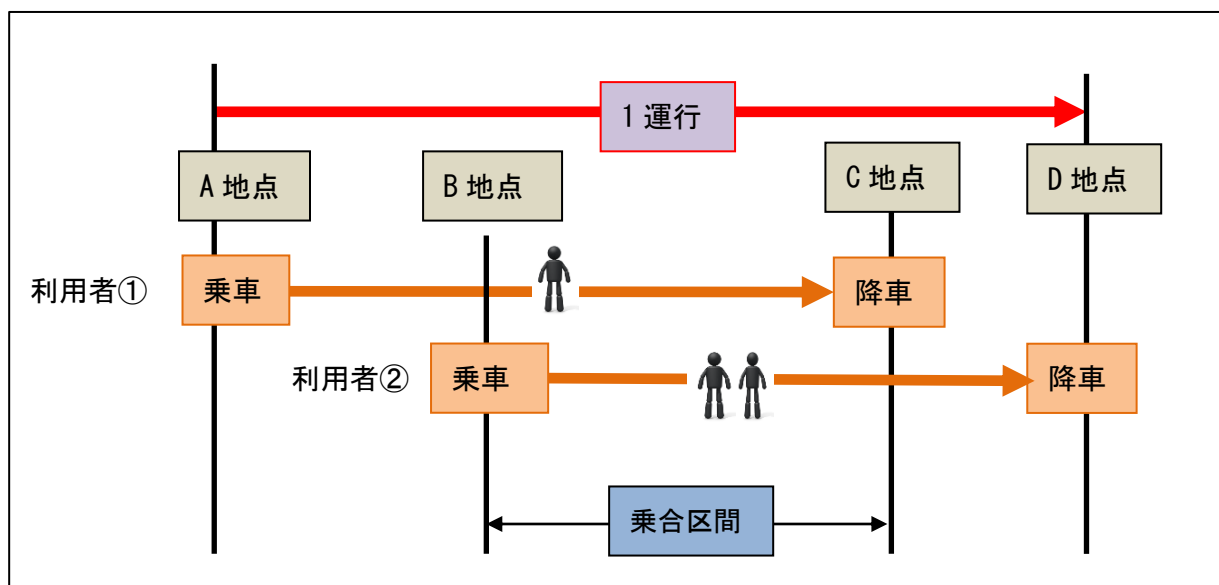
※乗合率：乗車①と乗車②の運行時間合計÷1運行の運行時間（下図参照）と定義します。

図 乗合率の推移



■乗合区間の例

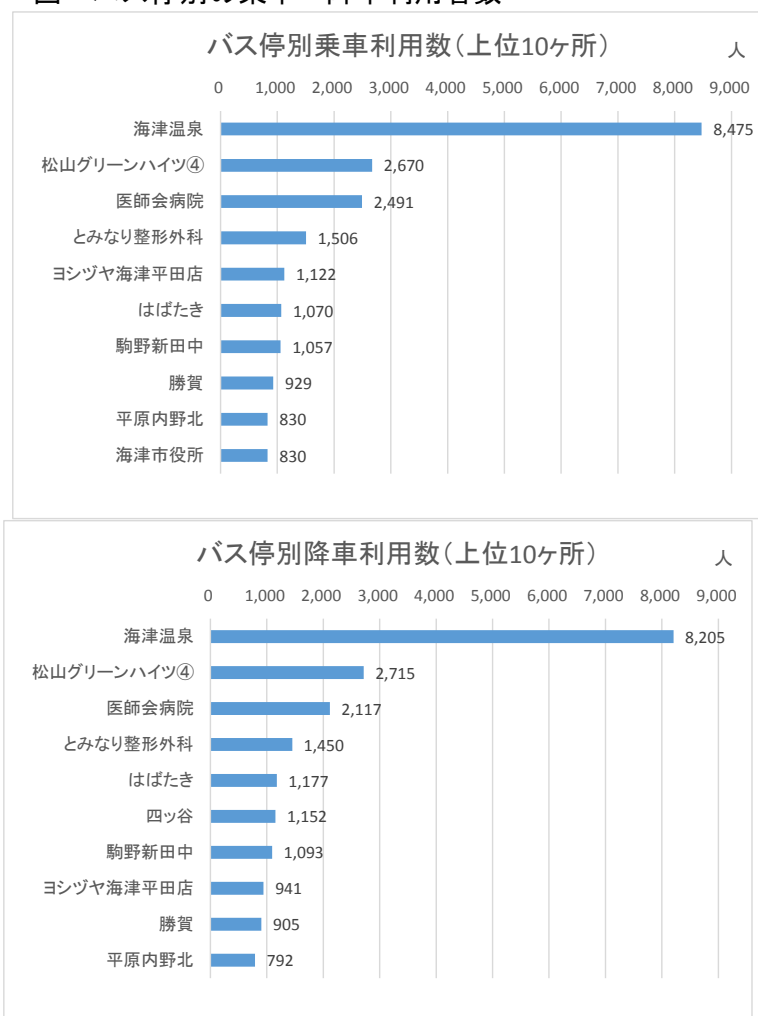
(利用者①は、A 地点で乗車し C 地点で降車。利用者②は、B 地点で乗車し D 地点で降車。B 地点と C 地点間では利用者①と②が乗合している)



(4) バス停別利用者数

利用の最も多いバス停は海津温泉であり、次いで松山グリーンハイツ、医師会病院となっています。公共施設、診療所、スーパーなどが上位に上がっており、温泉、通院、買い物目的での利用が多いことがうかがえます。

図 バス停別の乗車・降車利用者数



乗降組合わせ(上位10件)

	乗車場所		降車場所	利用数
1	海津温泉	⇒	松山グリーンハイツ④	1,291
2	松山グリーンハイツ④	⇒	海津温泉	1,255
3	勝賀	⇒	海津温泉	895
4	海津温泉	⇒	勝賀	885
5	海津温泉	⇒	平原内野北	744
6	平原内野北	⇒	海津温泉	701
7	大垣共立銀行海津支店	⇒	駒野新田中	613
8	岡田医院	⇒	松山グリーンハイツ④	613
9	松山グリーンハイツ④	⇒	岡田医院	612
10	駒野新田中	⇒	大垣共立銀行海津支店	606